

～今あるものに光を当てて、地域の活性化に繋げる～

特徴・ポイント

- ・コミュニティラジオ局のリソースを最大限に活用した地域貢献
- ・地域にとって良いことを持続可能にするための知恵と努力の継続
- ・地域密着の視点と、よそ者の視点の絶妙なバランス

事業概要

西三河地域コミュニティラジオ放送局として情報発信と、「人と人」「人とモノ」「人と街」を繋ぐコーディネート事業に取り組む。地域の音源(祭囃子、校歌等)の録音や地域住民による帯番組作り等、地域FM局でしかできない地域貢献に取り組む。よみかたり事業では営業先から対価を得るコミュニティビジネスを展開し、人財育成にも注力している。

FMおかざきの業務内容

FMおかざきの業務内容
なんでもご相談ください。まずは、番組に無料でゲスト出演できます。

- 放送
- 公開生放送
- オリジナル企画
- イベント企画運営
- アナウンサー派遣
- よみかたり事業
- パーソナリティー養成講座
- 教育事業

岡崎市を中心に西三河の圏域をカバーしています。

地域の人・モノ・音、それを地域の人々が聴き、誇りに感じる

服部社長の本業は鋳物製造業。エフエム岡崎設立時、株主として参画。その後、移譲されて以来8年間、コミュニティFMのあり方を模索し続けてきた。そしてたどり着いたのが「経済成長」とは対極にある姿。コミュニティに特化し、今あるものにもう一回光を当て、それを聴いた人が誇りに感じる。それが地域活性化やまちづくりに繋がる。事業を拡大する必要はないが、ただ持続可能にしていけないと活性化、まちづくりはできない。持続可能にするということが経営の課題であった。服部社長はその舵取りを放送の専門家である大野さんに託した。

出るラジオ、見るラジオ。聴かなくてもいいから自己表現の場に

大野さんの本拠地は浜松。番組制作会社を営んでいるが、西三河には誰一人知る人がいない。しかし地域の人に助けをもらい、地域の人と共に作り上げていくことが必要だと思ひ、地域の方が出る帯番組を作ろうと考えた。まずコンテンツを作り、出演者のための勉強会も実施した。曜日によって、ローターアクトクラブ、岡崎商工会議所青年部、地元組合の青年部などが所属する岡崎市青年経営者団体連絡協議会の組織で番組を回してもらう。青年部の紹介人脈で回す曜日があれば、女性、福祉関係で回す曜日もある。素人の方ならではの初歩的なトラブルもあり、「先生のコーナーですよ」と生放送で出演の呼びかけをするのも地域の方が出演する番組ならではの。

「まちづくりにはよそ者の役割がある」と大野さんは言う。岡崎が大好きというのは当然だが、放送の中では、「愛知県の中の岡崎」という視点を持って話してくださいとお願いしている。「出るラジオ」は自己表現の場だが、地域との関わりのためのツールであり、「相手のため」という視点も重要だからだ。勉強会ではそういったことも話した。見るラジオとはインターネットのホームページから見るという意味だ。「我々はマイナスからのスタート。聴かなくても見てくれればそこにチャンスが広がる」と大野さんは言う。



パーソナリティー養成講座修了記念の様子

言葉は言霊。よみかたり支援コーディネート

よみかたり事業は、講座・教本販売等の教育事業、地元サークルに活動支援の場を提供するイベント事業、告知・啓発の放送事業の3つの柱で展開している。よみかたりのサークルは多く、市の生涯学習課も全体数を把握しきれていない程だ。言葉に携わるラジオ局の使命として、よみかたりをする方々のスキルアップを目指したのが教育事業である。イベント事業では、ボランティアではなく対価を受けてよみかたりをする場をコーディネートしようと考えていたため、教育事業による技術の向上だけでなく、「相手にいかに伝えるか」という意識のプロ化にも力を入れた。こういった地道な取組が評価され、よみかたり事業は愛知県のコミュニティビジネス10選にも選ばれた。

音・言葉・音楽。地域の音源に光りを当て、発掘・保存

コミュニティラジオ局でしかできない取組として地域音源の発掘・保存が挙げられる。校歌のCDに関する問い合わせがきっかけだった。校歌には楽譜はあっても音源がないことに気が付き、少子化で廃校になりつつあるところのものから優先的にデータ化している。同様に祭囃子の保存にも取り組んでいる。お囃子にはレ点と返しという昔からの楽譜があるが、子供たちは再現できない。音源があれば分かるのに。そこで地域が継承してきた祭りを後世に残すため、取材し、デジタル保存している。地域音源は、お金で買えない価値。それが自分達のやるべきことと大野さんは言う。

ビジネスを大きくすることは考えていない。今まで株価を上げるために使っていた能力を地域の人たちに価値あることを伝えるために使う。その具体例がよみかたりと地域音源の事業である。コミュニティに光を当てることをコミュニティの人たちがやる。それを持続可能にする方法を考えるのがマネジメントだと大野さんは考えている。

団体名：株式会社 エフエム岡崎
代表取締役 服部 良男
住所：愛知県岡崎市
HPアドレス：http://okazaki.fm